

第4章 第1節 幼児期の学校教育・保育の見込量と確保策（平成28年度実績について）

1 見込量

	事業の名称	平成28年度に実施した事業	計 画		実 績		今後の取組み
			見込量	定員	入所者	定員	
教育・保育	幼稚園利用子ども (3から5歳) 5月1日現在	公立幼稚園4園と私立幼稚園5園で受け入れを実施しました。特に私立幼稚園については、当初の見込みより多く受け入れしました。	861人	1,290人	921人	1,290人	○平成30年4月からアップル幼稚園が認定子ども園に移行します。 ○平成31年3月末で中の島幼稚園を閉園します。 ○平成32年4月に南部・北部認定子ども園の開園に伴い、平成32年3月末で豊岡幼稚園、五郷幼稚園を閉園する予定です。
	保育所等利用子ども (3から5歳) 4月1日現在	公立保育所10か所、私立保育園2園で受け入れ体制に努めました。	917人	1,163人	868人	1,163人	○平成29年1月1日現在で70人の待機児童がいます。今後、待機児童の解消に向け保育士の確保等に努めます。 ○平成30年3月末で新治保育所を閉所します。
	保育所等利用子ども (0から2歳) 4月1日現在	0から2歳児については、特に保育の利用希望が多く、受け入れ体制に苦労している。認可外保育施設の1法人が平成27年9月1日付けで小規模保育事業に移行し、市で認可を実施しました。	384人	514人	446人	506人	○平成30年4月からアップル幼稚園が認定子ども園に移行します。 ○平成32年4月に南部・北部認定子ども園の開園に伴い、平成32年3月末で五郷保育所、中の島保育所、本納保育所を閉所します。

2 提供体制の確保の内容及びその実施時期

・計画では、見込量に対しての提供量（定員）は十分あるとみなされていましたが、保育士の手厚い配置体制を求められる3歳未満児の需要が急増したことなどから、保育士不足が生じ、平成29年4月時点で70人の待機児童が発生しました。早期解消に向け、保育士の確保等に努めます。

3 幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び当該学校教育・保育の推進に関する体制の確保

・平成30年4月に私立アップル幼稚園が「幼稚園型認定こども園」へ移行し、幼稚園定員150人、保育定員42人として開園予定です。
・平成28年8月に「公立保育所・幼稚園整備計画」を策定し、公立施設を縮小し、その受け皿として（仮称）北部認定こども園、（仮称）南部認定こども園を民間活力を活用した施設整備に努めます。